



2020年度【第7期】活動報告書

自2020年4月1日～至2021年3月31日

スマイル日光プロジェクト

【スマイル日光プロジェクト概要】

スマイル日光プロジェクトとは

日光市内で CSR（企業の社会的責任）を推進する企業集団の寄付つき商品販売およびプロボノ（専門スキルを活かしたボランティア）を通じた社会貢献プロジェクトです。それぞれの企業において特定商品の売り上げに応じた寄付金を社会貢献活動のために寄付します。企業が社会貢献をすることで企業の社会的価値を向上させると共に地域課題の解決の一助となることを目的としています。

取り組むべきテーマおよび寄付先の選定について

現在は『スマイル日光プロジェクトは人口減少社会に向き合います』を大テーマに以下の4項目についての支援を行います。寄付先の選定は、地域の実情を踏まえて参加企業で協議の上、決定させていただいております。

- ①すべての人が安心して暮らせる社会をつくる団体を応援します。
→高齢者および生活困難者（障がい者、貧困層）等の支援
- ②子どもを産み育てやすい環境、子どもが生き生きと生活できる環境をつくる団体を応援します。
→子育て世代、子どもの生活支援、若者の社会貢献活動等の支援
- ③市民が快適に住み暮らすことのできるために環境保全団体を応援します。
→環境保全団体等の支援
- ④災害が起こった際に助け合える関係の構築を応援します。
→災害義援金、災害復旧復興活動支援金等の支援

参加企業について

当プロジェクトの趣旨にご賛同いただき、社会貢献を推進する日光市内の企業であれば、どなたでも参加できます。現在（2021年3月現在）は、28社でプロジェクトを遂行しています。なお、参加企業および寄付つき商品は以下のマークが目印となります。



スマイル日光プロジェクトロゴマーク

【スマイル日光プロジェクト第7期活動報告】

(2020年4月～2021年3月)

1) 寄付つき商品プロジェクト

寄付金合計 ￥579,847-

(2020年3月1日～2021年2月28日までの売り上げに応じた寄付額)

※今期分は2021年度に支出いたします。

前期分の寄付金(￥556,012-)を以下の団体へ寄付いたしました。

- 1) 高校生ボランティアネットワーク『縁人(えんぴーと)プロジェクト』支援金
￥150,000- (日光市社会福祉協議会へ)
- 2) 子どもの貧困問題への取り組みに対する寄付
￥100,000- (食べて遊んで学んで育つ・日光子ども応援隊へ)
- 3) 新型コロナウイルス対策として消毒液を日光市を通じて児童クラブへ寄付
￥70,920- (消毒液購入代)

なお、活動経費を除いた残金は、次期へと繰り越します。



消毒液の寄付(日光市役所にて)

2) プロボノプロジェクト

1) 子どもの貧困問題対策プロジェクト『食べて遊んで学んで育つ・日光子ども応援隊』

2017年7月より月1回程度の会議開催

【構成団体】NPO 法人だいじょうぶ/S&S セミナー／

スマイル日光プロジェクト／キリフリ自然学校／NPO 法人和音／
ワンプレート／NPO 法人楽っ子の会／市民（元教員等）

※「子どもがその気になれば前に進める地域にしよう」という想いで集まった有志団体。

○「お寺 de 子ども食堂」（2020年8月7日）専念寺（足尾）にて

※給食がなくなる夏休み期間のみですが、足尾で子ども食堂を毎年開催しています。（今年度はコロナ禍のため1回のみ開催となりました。）



○「朝食応援プロジェクト」

①小2・5年、中2年に朝食に関するアンケート調査

※朝食を取れない子どもの実態調査（3回目）

②朝カフェの開催（日光東中学校にて）

※朝食に関するアンケートより支援が必要と思われる子どもがいそうな学校と相談の上、開催に至る。隔週1回程度の開催。

2) NPO法人はばたき様にて

①農業講座『野菜・果物博士になろう!』（2020年11月21日）

②『避難訓練+防災クイズ』（2020年12月21日）



- 3) 足尾中学校 総合的な学習の時間「日光みらい科」にて
 3年生向け『働くということ～かんも君グッズの販売戦略を通して～』
 (2020年6月3日)
 2年生向け『SDGsセミナー』(2020年6月4日)
 1年生向け『SDGsセミナー』(2021年1月13日)
- 4) 今市中学校 総合的な学習の時間「日光みらい科」にて
 3年生向け『SDGsセミナー』(2020年11月9～11日)

第3種郵便物認可



日光版SDGsを学ぶ特別授業

SDGs 理解へ特別授業 地域団体会長と3日間

【日光】今市中で9日、「日光版SDGs(持続可能な開発目標)」を学ぶ特別授業が行われた。10日までの3日間で3年生全5クラスが授業を受ける。

世界的に取り組みが進むSDGsを理解しながら、自分たちの地域の未来を考える機会をつくろうと開き、社会貢献活動などに取り組み団体「スマイル日光プロジェクト」の小栗卓会長(45)が授業を担当する。

初日はクラスで授業が行われ、最初となった3年1組では生徒27人が、ゲームを交えて「貧困をなくそう」などSDGsの17の目標について学習。続いて「日光のいいところ・心配なこと」をテーマにグループで議論し、「余った食べ物を会員制交流サイト(SNS)で発信する」などのアイデアが出された。

飯野梨央奈さん(15)は「食品ロスを減らす取り組みが、世界の人々を救えることを改めて理解した。身近なところにあるSDGsを意識して生活していきたい」。小栗会長は「身の回りのSDGsに気づき、自分の生活にどのように結びつけているのか考える機会になれば」と話した。(鈴木祐哉)

- 5) その他、各企業単独のプロボノ活動

3) SDGs への取り組み

→各々の企業にて SDGs の各テーマに沿った取組を展開



SDGs とは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

スマイル日光プロジェクトも参加企業それぞれが企業活動を通して以下の通りSDGsに取り組めます

- 1 貧困をなくそう** ●NPOや市民との協働による子どもの貧困解決プロジェクトに参加し、子どもの貧困問題に取り組む【大津屋・成文社】
- 2 飢餓をゼロに** ●食材の廃棄ロスの削減/残飯を肥料・飼料化し、食の循環を目指す【大津屋】
- 3 すべての人に健康と福祉を** ●酒蔵見学において健康的な飲酒の講話を行う【渡邊佐平商店】
●営業形態を利用した地域見回り・声かけ等に取り組む【エネックスつるや】
●目に有害な紫外線やブルーライトをカットするメガネの推奨/目の老化防止、目の健康を保つ。【時計・メガネ・補聴器・宝飾 オザキ】
- 4 質の高い教育をみんなに** ●食育という観点から、学校給食の地産地消に取り組む【魚伸】
- 5 ジェンダー平等を實現しよう** ●女性の積極的雇用/「お母さん」であることがハンディにならない職場環境づくり【大津屋】
●賞物を通じて女性の笑顔を増やす【ひしや呉服店】
- 6 安全な水とトイレを世界中に** ●災害時に井戸水を供給する (手押しポンプの導入) 【渡邊佐平商店】
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに** ●LPGや灯油などの家庭用燃料の安定供給/ホームアルデヒド低減素材によるリフォームの推進/高効率ガス給湯器、暖房システム等の推進による資源エネルギー保全への取り組み【エネックスつるや】

- 8 働きがいも経済成長も** ●企業間連携による社会貢献により、経営者・従業員・ステークホルダーが共通価値を創造し、企業価値を高め、地域経済の発展へと繋げる【スマイル日光プロジェクト】
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう** ●参加企業間での連携による地域性を生かした商品開発【スマイル日光プロジェクト】
- 10 人や国の不平等をなくそう** ●メガネや補聴器を通して、障がいがある方のQOL(生活の質)を向上させ、健康者との格差・不平等がなくなるように努める。【時計・メガネ・補聴器・宝飾 オザキ】
- 11 住み続けられるまちづくりを** ●天然素材を活かし、持続可能な循環型建築社会を目指す【竹澤工務店】
●人と人との繋がりから日光ならではの食べ物を開発し、日光ブランドに繋げていく【魚伸】
●地元消防団や自治会等に対する積極的な参加・取り組み【エネックスつるや】
- 12 つくる責任 つかう責任** ●そばの地産地消をすることにより、安全性に取り組み、年間を通して安定した食材の確保をする。また、それらを使って安全な食品を提供する【梅屋商店】
●適切な木材の加工・使用を通して、木材の再利用可能な家づくりをする/古材の利用【竹澤工務店】
●空きビンの回収を積極的に行い、酒ビンのリユースを行う【渡邊佐平商店】
- 13 気候変動に具体的な対策を** ●自然災害に対しての備えを市民と共に考える機会を創出 (防災カフェ等) し、また、自然災害への備えを促すリーフレット等を作成して市民に周知することで、地域防災の一助とする【成文社】
- 14 海の豊かさを守ろう** ●専門的な視点から漁獲量の少ないものより多いものの食べ方を教えることで生態系の保護につなげる【魚伸】
●エコバッグを使用・販売することでレジ袋の使用を軽減し、マイクロプラスチックを増やさないようにする【ひしや呉服店】
- 15 陸の豊かさも守ろう** ●地場産材の使用を促進し、地域の森林資源の適正な使用をする【竹澤工務店】
●地元産酒米を積極的に使用する【渡邊佐平商店】
●森林認証材やエコペーパー、ペジタプラインキなどを積極的に使用することで、森林等の生態系に悪影響を与えない取り組みに努める【成文社】
- 16 平和と公正をすべての人に**
- 17 パートナシップで目標を達成しよう** ●あらゆるステークホルダーとの連携を強化し、「企業」「市民」「NPO」「行政」等が目的共有によるパートナーシップを構築する【スマイル日光プロジェクト】

4) テーマ別会議について

チームごとに現在の社会課題を把握し、それに対する企業としてのアクションを検討する。

◎はチームリーダー

- ・プロジェクトチーム①（子供に関するテーマを中心に）

◎伊澤、猪瀬、尾崎、大門、吉原

※日光子ども応援隊「朝食プロジェクト」への支援について

- ・食料の調達、寄付等（おおつや・だいもん苺園）

- ・プロジェクトチーム②（環境に関するテーマを中心に）

◎安達、池田、片山（幸）、鈴木、西岡

※「エコバッグプロジェクト」について

- ・コロナ禍の状況に応じて市と協働により展開する（開始時期は未定）



- ・プロジェクトチーム③（高齢者に関するテーマを中心に）

◎添野、福田、柏木、高橋、沼尾（伸）

※栃木県プロパンガス商業協同組合との協働による「検診時見守りプロジェクト」

- ・2021年7月に栃木県プロパンガス商業協同組合と日光市社会福祉協議会との協定調印（予定）

- ・プロジェクトチーム④（里山に関するテーマを中心に）

◎伊藤、坂本、手塚、直林、沼尾（綾）

※古民家再生協会との協働について

- ・プロジェクトチーム⑤（市政や地域情報を収集しながらテーマ選定）

◎渡辺、大島、長谷川、速水、八木澤

※「朝食プロジェクト」「エコバッグプロジェクト」について行政との協働支援

5) メンバー研修について

- 1) アドバイザー長浜洋二氏による研修会
 - ・ソーシャルマーケティング（実践研修）（2021年2月15日）
 - スマイル日光プロジェクトの役割（ミッション）を改めて考える。
- 2) その他、CSR勉強会ならびに会員間プロジェクト会議を月1回開催

6) その他の活動

- 1) セミナー開催・事例発表・審査員ほか
 - ①栃木県ふれあい学習推進委員会にて事例発表（2020年6月22日）
 - ②宮ラジ「みんながけっぷちラジオ」出演（2020年9月15日）
 - ③猪倉児童クラブSDGsセミナー（2020年11月26日）
 - ④がんばろう栃木！コロナ支え合い基金 審議員
- 2) 「新」CSR検定 宇都宮会場事務局（2020年11月1日実施）
- 3) サニクリーン宇都宮様コラボレーション企画
 - ・スマイル日光プロジェクトマーク入りマット
 - お買い上げの5%をご寄付いただきます。



「スマイル日光プロジェクト」会則

名称

第1条 この会は、「スマイル日光プロジェクト」と称し、本部は株式会社成文社内に置く。(栃木県日光市森友928-11)

目的

第2条 スマイル日光プロジェクトは、寄付つき商品販売を通して、企業が社会貢献をすることで企業の社会的価値を向上させると共に地域課題の解決の一助となることを目的とする。

事業

第3条 スマイル日光プロジェクトは、前条目的を達成する為、次の事業を行う。
① 会員企業の寄付つき商品販売による寄付金を社会貢献団体へと寄付する。
寄付先の選定については会員相互の話し合いにより決定する。
② 会の広報および地域企業の社会貢献を推進するための事業を行う。
③ 1回/月の会議を開催する。

会員の入会及び脱会

第4条 入会は、社会貢献を推進し、寄付つき商品を販売する企業であれば、役員承認を得て入会出来る。脱会に関しては、申し出があれば役員承認のもと脱会出来る。

役員

第5条 スマイル日光プロジェクトには、次の役員を置く。
① 会長 1名
② 副会長 2名
③ 庶務 2名
④ 監査 2名

役員職務

第6条 役員職務は、下記の通り行う。
① 会長は、会を代表し会務を統括する。
② 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
② 庶務は、本会の庶務及び会計の任にあたる。
③ 監査は、会の会計及び業務の執行状況を監査し、結果を会員に報告する。

会計

第7条
① この会の経費は、会員の寄付金を以って充てる。
② 寄付以外の事業の経費については、都度、会費を設定し庶務に納める。
③ その他、必要があれば助成金等を利用する。

その他

第8条 総会、及び決算報告
① 総会は、毎年1回開催する。
② 総会時に、庶務は決算報告をし、監査はその妥当性について会員に報告する。
③ 総会時、必要があれば役員選任を行う。

附則

① この会則は平成27年7月13日より施行する。

スマイル日光プロジェクト名簿

令和3年3月31日現在（順不同・敬称略）

No.	役職	氏名	事業所名	備考
1	会長	小栗卓	(株)成文社	継続
2	副会長	安達幸司	ひしや呉服店	継続
3	〃	伊澤義満	(有)大津屋	継続
4	庶務	池田剛士	池田種苗店／池田農園	継続
5	〃	坂本泰弘	(有)サカモト（日光大和屋珈琲）	継続
6	監査	伊藤郁夫	(有)伊藤工務店	新任
7	〃	渡邊康浩	(株)渡邊佐平商店	継続
8		片山智之	片山酒造(株)	
9		沼尾綾乃	(株)鬼怒川タクシー	
10		福田浩之	(株)けっこう漬本舗	
11		西岡匠	(株)三興社彫刻店	
12		手塚正紀	(有)皇漢堂薬局	
13		添野哲哉	(有)エネックスつるや	
14		猪瀬忠之	(有)梅屋商店	
15		沼尾伸孝	沼尾油店今市インターSS	
16		柏木純一	Café&Dinningbar 珈茶話	
17		速水茂希	(有)登屋本店	
18		長谷川敬	(有)長谷川薬局	
19		八木澤正則	(株)はちや	
20		片山幸彦	(株)カタヤマ	
21		大島浩	(有)魚伸	
22		大門勇人	だいもん苺園	
23		高橋祐也	栃木県映画センター	
24		鈴木公人	栃木菱和自動車販売(株)	
25		吉原幸洋	吉原塗装店	
26		尾崎哲哉	時計・メガネ・補聴器・宝飾 オザキ	
27		直林広高	日本コロムビア(株)	